

学校	ご意見やご質問	回答
田原小中学校	社会福祉法人の事業への取り組み、活動内容、活動実績等、障がい者福祉に関して全く知識のない方にもわかりやすく丁寧な説明が今後も必要だと感じました。	社会福祉法人の事業活動や取組等の説明が足りなかったとの指摘をいただいた点も含めて、施設見学会を開催するなど丁寧な説明に努めてまいります。
興東小学校	仮に議会で否決された場合、令和9年度4月からの給食はどうなるのでしょうか。配膳員は社会福祉法人から派遣ではないのはなぜでしょうか。	否決された場合であっても給食が無くなることはありません。本市として給食を止めることはできませんので、給食を継続できるよう理解を得ることが大切と考えています。配膳員については、委託が難しいため市が継続して雇用する予定です。
興東小学校	まだ今の形で継続が可能なら、なるだけ先延ばししていただきたいです。保護者に現場の雰囲気をを見せていただく機会を設けていただきたいです。	できるだけ先延ばしにして欲しいというお気持ちはお察ししますが、現在の直営方式の維持は難しいと考えています。調理場の見学会の実施など、保護者の意見を聞きながら進めてまいります。
月ヶ瀬小中学校	必要経費について、現在の直営と民間調理場を活用した委託との比較を教えてください。	年間の運営経費について、現在の直営では、民間調理場を活用した場合の事業者への委託料の約2倍の経費を要しています。民間調理場への移行で管理栄養士や配膳員を任用する必要が生じるものの、直営での実施よりも3千万円以上経費が縮減される見込みです。
興東小学校	施設の老朽化と人員不足は、令和9年から始めなければどうにも立ち行かないほど深刻なのでしょうか。あと何年かは、現状で維持できるのではないですか。 様々な事業者と、委託の可能性について検討してきたと回答にありましたが、何という事業者と、いつ、何件検討されたのでしょうか。社会福祉法人しかないとなった経緯も教えてください。	都祁学校給食センターは、耐震性能が万全でなく、大規模地震の発生時には調理業務の停止だけでなく、安全確保が困難な状況にあります。 人員についても、定年時期だけを見れば令和9年度に即座に立ち行かなくなるわけではありませんが、定年前の退職も考えられ、安定的な給食提供を継続することが難しい状況です。 令和3年度に、学校給食の調理事業者1社と事業委託に向け協議を行いました。その後、センターの耐震性の問題が判明し、委託に至りませんでした。さらに、令和6年度には配達業務を委託しようと、2度にわたって入札を行いました。が、配達単独での採算確保が困難であるといった理由から、応札する事業者は1社もありませんでした。 また、令和7年8月には給食調理事業者16社を対象に意向調査したところ、結果として「自社の施設で調理を引き受けられる」という回答は1社も得られませんでした。16社への調査結果からは「600食規模の給食調理が可能で7校に配送可能な衛生管理基準を満たす施設」を自前で保有していない点が課題がでした。 600食の調理能力を備え、衛生管理が保たれた調理場を東部地域に保有し、人員確保の基盤と経営の安定性を備える事業者が社会福祉法人でした。